博士学位授与申請の手引

（課程博士用）

島根大学大学院自然科学研究科

令和４年１０月策定

令和８年１０月最終改正

目　　次

Ⅰ　学位の種類 2

Ⅱ　課程博士の学位申請の手続き 2
　１　予備審査の申請 2
　　(1) 申請書類 2
　　(2) 申請時期 2
　　(3) 予備審査結果の通知 3
　２ 博士論文審査（本審査）の申請 3
　　(1) 申請書類 3
　　(2) 申請時期 3
　３ 課程博士の学位申請資格及び基準 4
　４ 学位授与までのフローチャート 5
　５ 提出書類の作成要領 6
　　(1) 各書類共通事項 6
　　(2) 予備審査申請書類作成要領 6
　　(3) 博士論文審査（本審査）の申請書類作成要領 14

Ⅲ　学位論文の公表 20
　１　島根大学学位規則第１７条及び１８条 20
　２　公表を前提とした著作権処理 20
　３　公表用電子データの提出形式・提出物 21
　４　インターネットの利用による公表の方法 21
　博士論文公表に係る提出物一覧表 22

問合せ ／ 提出先

〒690-8504　松江市西川津町 1060
島根大学松江地区学部等事務部 学務課 自然科学研究科担当（学生センター１階４番窓口）
TEL：0852−32−6835（内線 2617）　FAX：0852−32−6059
E-mail：ns-gakumu@office.shimane-u.ac.jp

※各種様式のダウンロードはこちらから。
（紙面でご覧の方は左記ＱＲコードを読み取ってください。）

Ⅰ　学位の種類

本学の自然科学研究科において取得できる博士の学位は、専攻分野の名称区分により博士（理学）、博士（工学）の２種類があります。

なお、取得区分として、課程修了により授与される博士の学位（以下「課程博士」という。）と論文提出により授与される博士の学位（以下「論文博士」という。）があります。

課程博士は、本学大学院自然科学研究科博士後期課程に３年以上在学し、本研究科規則に定める１２単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格した者が取得できるものです。

論文博士は、博士論文を提出してその審査に合格し、かつ、博士後期課程を修了した者と同等以上の学力があると確認された者が取得できるものです。

Ⅱ　課程博士の学位申請の手続き

１　予備審査の申請

博士の学位を受けようとする者は、主指導教員の承認を得て、次の書類を取りそろえ、学務課（自然科学研究科担当）を経由して研究科長に提出し、予備審査を受けなければなりません。

(1) 申請書類

① 予備審査申請書（別紙様式第１号）…… １部
② 博士論文の草稿（Ａ４判横書き、和文又は英文）…… ３部
③ 博士論文の要旨（別紙様式第２号）…… ３部
④ 論文目録（別紙様式第３号）…… ３部
⑤ 関連論文等 …… ３部
⑥ 履歴書（別紙様式第４号）…… １部

【注】

・⑤の関連論文のうち、共著論文がある場合には、次の書類が必要となります。

(ｱ) 共著者の承諾書（別紙１）又は確認書（別紙３）…… 各１部
(ｲ) 共著論文研究要旨（別紙２）…… 各１部

また、この他に、レフェリー付き学術論文については、レフェリー付きであることを示す資料(アクセプトレターの写し、又は投稿規則等の写しなど)、ならびに投稿日の記載がない場合は投稿日の分かる資料を添付してください。

(2) 申請時期

原則として、１１月１日～１１月２０日（９月修了予定の者にあっては、５月１日～５月２０日。いずれも土曜日、日曜日及び休日を除く。）の期間です。この場合、２０日が土曜日に当たる場合はその翌々日、日曜日又は休日に当たる場合はその日の翌日を提出期限とします。

(3) 予備審査結果の通知

予備審査の結果については、予備審査結果通知書（別紙様式第８号）により予備審査申請者に通知します。

予備審査の結果、学位申請が許可された場合には、本審査の申請をしてください。

なお、学位申請が許可されなかった場合でも、論文内容を改善し改めて申請することができます。

２ 博士論文審査（本審査）の申請

予備審査で学位申請が許可された場合、主指導教員の承認を得て、次の書類を取りそろえ、学務課（自然科学研究科担当）を経由して研究科長に提出してください。

(1) 申請書類

① 博士論文審査願（別紙様式第９号） …… １部
② 博士論文（１編）（Ａ４判横書き、和文又は英文） …… ５部
③ 博士論文の要旨（別紙様式第２号） …… ５部
④ 論文目録（別紙様式第３号） …… ５部
⑤ 関連論文等 …… ５部
⑥ インターネット公表に関する承諾書 …… １部
⑦ 英文学位記（副本）交付願書 …… １部

【注】

・⑤の関連論文のうち、共著論文がある場合には、次の書類が必要となります。
なお、予備審査で提出している場合は、あらためて提出する必要はありません。

(ｱ) 共著者の承諾書（別紙１）又は確認書（別紙３） …… 各１部
(ｲ) 共著論文研究要旨（別紙２） …… 各１部

また、この他に、レフェリー付き学術論文については、レフェリー付きであることを示す資料(アクセプトレターの写し、又は投稿規則等の写しなど)、ならびに投稿日の記載がない場合は投稿日の分かる資料を添付してください。申請時に掲載済み又は掲載決定していない場合は、投稿したことの証明を提出し、掲載済み又は掲載決定となったことが分かる書類を公聴会開催日７日前（休日を除く）までに提出してください。

・⑥のインターネット公表に関する承諾書については、２０頁からの「Ⅲ 学位論文の公表」を参照ください。

・単位修得退学後１年を超えてから学位授与の申請を行う方は、申請期間中に学位論文審査手数料（現行 ５８，０５５円）を納付しなければなりません。振込口座等は予備審査合格者にお知らせいたします。

(2) 申請時期

原則として、１月１日～１月２０日（９月修了予定の者にあっては、７月１日～７月２０日。いずれも土曜日、日曜日及び休日を除く。）の期間です。この場合、２０日が土曜日に当たる場合はその翌々日、日曜日又は休日に当たる場合はその日の翌日を提出期限とします。

3 課程博士の学位申請資格及び基準

研究科では、博士の学位申請に当たり、次のような申請資格及び基準を定めています。しかしながら、学問分野により特殊性や相違もあることから、あらかじめ主指導教員と十分に協議してから申請してください。

(1)博士論文の審査を申請できる者は、本学自然科学研究科の博士後期課程に在学中の者で次のいずれかに該当する者です。

① 研究科規則に定める所定の単位(授業科目１２単位以上)を修得し(修得見込みを含む。)、かつ、必要な研究指導を受けた者

② 博士後期課程３年の標準修業年限を超えて在学する者で、研究科規則に定める所定の単位（授業科目１２単位以上）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者

(2)博士論文は、レフェリーシステムの確立した学術雑誌に掲載されたもの及び掲載され得るものを基に独自に作成されたもの又はこれと同等のものであることとしています。

(3)関連論文（博士論文作成の基礎となった論文）は、原則として申請時までに掲載済み又は掲載決定している学術論文でなければなりません。また、以下の基準を満たしていなければなりません。

教育研究分野	関連論文の数等に関する基準
知能情報デザイン学分野 物理・マテリアル工学分野 機械・電気電子工学分野 地球科学分野 環境共生科学分野 物質化学分野 建築デザイン学分野	関連論文のうち少なくとも二編は信頼のおける査読付き論文であり，そのうち少なくとも一編は，申請者が筆頭著者又はそれに相当する者で，かつ自然科学研究科博士後期課程入学以降に執筆したと判断される論文であること。
数理科学分野 生命科学分野	関連論文のうち少なくとも一編は信頼のおける査読付き論文であり，かつ申請者が筆頭著者又はそれに相当する者で，自然科学研究科博士後期課程入学以降に執筆したと判断される論文であること。

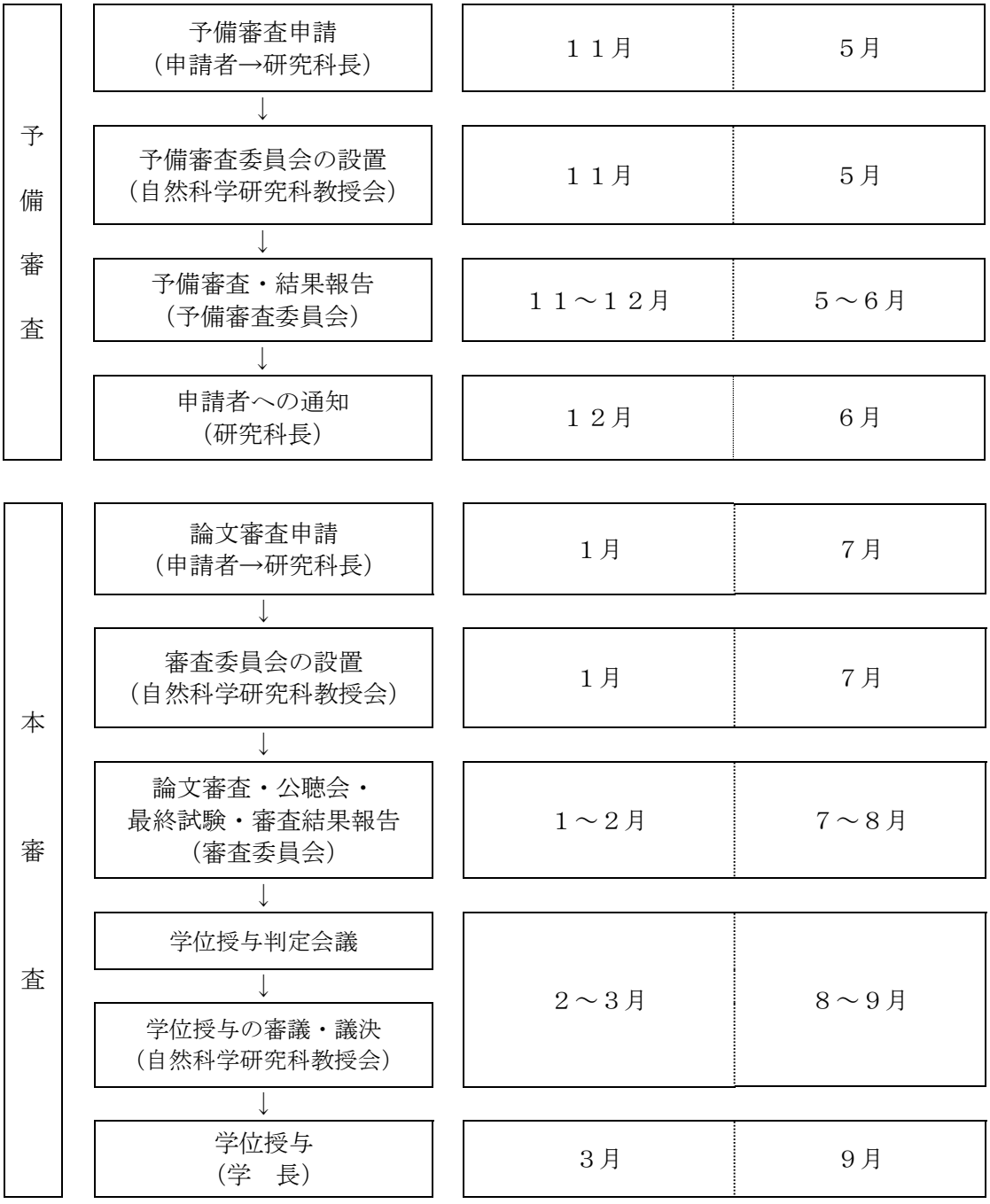
なお、関連論文とともに、レフェリー付きであることを示す資料(アクセプトレターの写し、又は投稿規則等の写しなど)、ならびに関連論文に投稿日の記載がない場合は投稿日の分かる資料を提出してください。申請時に掲載済み又は掲載決定していない場合は、投稿したことの証明を提出し、掲載済み又は掲載決定となったことが分かる書類を公聴会開催日７日前（休日を除く）までに提出してください。

(4)関連論文のうち共著のものについては、申請者が共同研究において主たる役割を務め、共著者が過去においていずれの大学に対しても博士論文として申請をしていないことを要します。また、申請に当たっては、申請者の研究範囲を明記した「共著論文研究要旨」及び共

著者の「承諾書」を提出してください。
なお、共著者の「承諾書」は、共著者のうち博士の学位を取得している者がある場合は、主指導教員の「確認書」をもって代えることができるので、主指導教員と相談してください。

(5)上記(3)の論文以外に、主指導教員の指示により、参考論文（博士論文の内容とは直接関係しないが、審査上参考になる論文等）についても提出してください。

4 学位授与までのフローチャート



5 提出書類の作成要領

(1) 各書類共通事項

① 博士論文題目が和文の場合は、題目の下に（ ）を付して英訳を付記してください。

② 提出書類が２通以上となるものは、複写により作成してもよいですが、長期保存に耐えうるものとしてください。

③ 捺印箇所は、各書類とも必要部数に同一の印鑑で朱肉を用いて捺印してください。ただし、外国人で印鑑を所有していない者は、署名でもよいこととします。

(2) 予備審査申請書類作成要領

① 予備審査申請書

(a) 必要事項を記入後、主指導教員が承認印を押したものを提出してください。

(b) 学位に付記する専攻分野の名称(学位の名称)は主指導教員と相談の上で記入してください。

(c) 用紙の大きさは、Ａ４縦型としてください。

別紙様式第１号（第６条関係・課程博士）

予 備 審 査 申 請 書

年　月　日

島根大学大学院自然科学研究科長　殿

主指導教員 承　認　印	

申　請　者

年度入学生

島根大学大学院自然科学研究科博士後期課程創成理工学専攻

コース　　分野

氏　名　　印

学位規則自然科学研究科博士後期課程細則第６条の規定に基づき、下記の関係書類を添えて、博士論文の予備審査を申請します。

記

１　提出書類

博 士 論 文 の 草 稿　　３部
博 士 論 文 の 要 旨　　３部
論　文　目　録　　３部
関 連 論 文 等　　３部
履　歴　書　　１部

２　取得希望学位（付記する専攻分野）

博　士　（　　）

② 博士論文の草稿

(a) 博士論文の草稿は、学位の申請に値する十分な内容を備えていることが必要です。

(b) 提出する草稿は、博士論文の原稿（詳しい内容が準備できている場合)、又は２０枚程度で学位論文の内容を十分に明らかにしたもの(博士論文の目次､各章ごとの概要を記述)とします。

(c) 用紙はＡ４縦型、横書きとし、和文又は英文とします。

(d) 印刷字体は､パソコン等による印字とすることが望ましいですが､手書きによる場合は、楷書で丁寧に書いてください。

③ 博士論文の要旨

(a) 博士論文の要旨は、学位の申請に値するものであることを要約して示すものです。

(b) 用紙はＡ４縦型、横書きとし、和文又は英文とします。

(c) 和文とする場合は 2,000 字程度、英文とする場合は 800 語程度にまとめてください。

(d) 図表、化学記号等を用いる場合は、明瞭なものを使用するものとし、図表は最小限にしてください。

別紙様式第２号（第６条、第１２条関係・課程博士）

博 士 論 文 の 要 旨

島根大学大学院自然科学研究科博士後期課程創成理工学専攻

コース　　分野

氏　名

論文題目	
論文要旨	

④ 論文目録（９頁記入例を参考）

(a) 関連論文は博士論文作成の基礎となった学術論文とし、参考論文は博士論文とは直接関係しないが、審査上参考となる学術論文等とします。

(b) 関連論文及び参考論文ともレフェリー付き学術論文とその他の学術論文等に分類して記載してください。

(c) 論文が未発表のものについて、掲載が決定しているものは「採録決定」、掲載を申請中のものは「投稿中」としてください。
また、「採録決定」のものについては、その証明書(アクセプトレターの写し等)を添付してください。

(d) 用紙の大きさは、Ａ４縦型としてください。

⑤ 関連論文等

関連論文等とは、関連論文及び参考論文の別刷り又はコピーとします。
なお、印刷予定又は投稿中のものはそれらの原稿のコピーとします。

⑥ 履歴書（１０頁記入例を参考）

(a) 氏名は、戸籍のとおりに記載してください。なお、漢字を使用しない外国人は英文で、Family Name、Given Name の順に記載してください。

(b) 本籍は、都道府県のみ記入してください。外国人は国籍を記入してください。

(c) 学歴欄は、原則として高校卒業以降の学歴について、年次を追って記入してください。

(d) 職歴欄は、常勤の職について、その勤務先及び職名を、順を追って記入してください。ただし、非常勤の職であっても、特に教育・研究に関するものについては、記入してください。職歴が無ければ「なし」と記載してください。

(e) 研究歴欄は、学位審査の参考になると思われる研究歴について、研究生等の期間、企業等の研究員等で行った研究を事項（研究課題、研修、学術調査、学術奨励金に関するものなど）別に記入してください。研究歴がなければ「なし」と記載してください。

(f) 賞罰欄は、学位申請上、特記すべきと思われる学会の奨励賞の受賞等を記入してください。賞罰がなければ「なし」と記載してください。

(g) 日付は、申請日としてください。

(h) 用紙の大きさは、Ａ４縦型としてください。

（記入例）

別紙様式第３号（第６条、第１２条関係・課程博士）

論　文　目　録

申　請　者	島根大学大学院自然科学研究科博士後期課程創成理工学専攻 ○　○　○　○　コース　○　○　○　○　分野 氏　　名　　○　○　○　○

１．学位申請論文題目

「○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○」

（英訳○○○○○○○○○○○○○○○○）

２．発表論文

(1) 関連論文

(a) レフェリー付き学術論文

題　目　「○○○○○○○○○○○○○」

著者名（全員）　○○○○、○○○○、○○○○

掲載誌名（巻、号、頁）

○○○○○雑誌　（第○巻第○号 ○○頁～○○頁）

発行年月 ○○○○年○月

(b) その他の学術論文等

題　目　「○○○○○○○○○○○○○」

著者名（全員）　○○○○、○○○○、○○○○

掲載誌名（巻、号、頁）

○○○○○雑誌　（第○巻第○号 ○○頁～○○頁）

発行年月 ○○○○年○月（採録決定）

(2) 参考論文

(a) レフェリー付き学術論文

題　目　「○○○○○○○○○○○○○」

著者名　（全員）○○○○、○○○○、○○○○

掲載誌名（巻、号、頁）

○○○○○雑誌　（第○巻第○号 ○○頁～○○頁）

発行年月 ○○○○年○月

(b) その他の学術論文等

題　目　「○○○○○○○○○○○○○」

著者名　（全員）○○○○、○○○○、○○○○

掲載誌名（巻、号、頁）

○○○○○雑誌　（第○巻第○号 ○○頁～○○頁）

発行年月 ○○○○年○月（採録決定）

（記入例）

別紙様式第４号（第６条、第２８条関係・課程博士、論文博士共通）

履　　歴　　書

ふりがな 氏　　名	○○　○○　○○　○○ ○　　○　　○　　○ ○○○○ 年　○○ 月 ○○ 日生
本　籍　地	○ ○ ○　都　道 府　県　（日本国籍以外のものは国籍）
現　住　所	〒○○○－○○○○　　TEL ○○○○－○○－○○○○ ○○県○○市○○町○○　○○ﾏﾝｼｮﾝ○○号室

年　月　日	学　　歴
○年○月○日	○○○○○○高等学校卒業
○年○月○日	○○○○大学○○学部入学
○年○月○日	同上　　卒業
○年○月○日	○○○○大学大学院○○研究科○○○専攻博士前期課程入学
○年○月○日	同上　　修了
○年○月○日	○○○○大学大学院○○研究科○○○専攻博士後期課程入学（進学）
○年○月○日	同上　　修了見込

年　月　日	職　　歴
○年○月○日	○○会社入社 ○○研究所研究員
○年○月○日	同社　退社

年　月　日	研　　究　　歴
○年○月○日	○○大学大学院○○研究科研究生として「○○○研究」に従事 （○○年○月○日まで）
○年○月○日	○○会社○○研究所にて「○○○研究」に従事 （○○年○月○日まで）

年　月　日	賞　　罰
○年○月○日	○○○○○学会奨励賞受賞

上記のとおり相違ありません。

○○年○○月○○日

氏名　○　　○　　○　　○　印

(ｱ) 共著者の「承諾書」

(a) この書類は、関連論文（博士論文作成の基礎となった学術論文）に共著論文がある場合に必要です。共著者のうち既に博士の学位を取得している者については、承諾書に代えて「確認書」を提出することができますので、主指導教員に相談してください。

(b) 用紙の大きさは、Ａ４縦型としてください。

（別紙１）

承　　諾　　書

年　　月　　日

島根大学大学院自然科学研究科長　殿

共著者
所属・職
氏　　名　　印

下記論文については、　　氏が島根大学の博士（　　）の学位申請のために使用することを承諾します。

なお、当該論文は、博士論文として過去において使用せず、また、将来においても使用しません。

記

論文題名

共著者名（全員）

掲載誌名
掲載の巻、号、頁
発行年月

(ｲ) 共著論文研究要旨

(a) この書類は、関連論文（博士論文作成の基礎となった学術論文）に共著論文がある場合に必要です。

(b) 用紙の大きさは、Ａ４縦型としてください。

（別紙２）

共著論文研究要旨

氏　名　　印
1　論　　文 題名 共著者名（全員） 掲載誌名 掲載の巻、号、頁 発行年月
2　要　　旨
3　申請者の研究範囲

(ｳ) 確認書

(a) この書類は、関連論文（博士論文作成の基礎となった学術論文）に共著論文がある場合で、共著者のうち既に博士の学位を取得している者については、「承諾書」に代えて提出することができますので、主指導教員に相談してください。

(b) 用紙の大きさは、Ａ４縦型としてください。

（別紙３）

確　　認　　書

論文題名

共著者名（全員）

掲載誌名
　掲載の巻、号、頁
　発行年月

上記の論文について、　　氏が島根大学の博士（　　）の学位の申請を行うに当たり、下記の共著者は、既に博士の学位を授与された者であることを確認しました。

記

氏　名

年　　月　　日

主指導教員（担当教員）
　氏　名　　印

(3) 博士論文審査（本審査）の申請書類作成要領

① 博士論文審査願

別紙様式第９号（第１２条関係・課程博士）

博 士 論 文 審 査 願

年　　月　　日

島根大学大学院自然科学研究科長　　殿

主指導教員 承　認　印	

申　請　者

年度入学

島根大学大学院自然科学研究科博士後期課程創成理工学専攻

コース　　分野

氏　　名　　印

学位規則自然科学研究科博士後期課程細則第１２条の規定に基づき、下記の関係書類を添えて、博士論文の審査を申請します。

記

１　提出書類

博　士　論　文	５部
博士論文の要旨	５部
論　文　目　録	５部
関　連　論　文　等	５部

２　取得希望学位（付記する専攻分野）

博　士　（　　）

② 博士論文

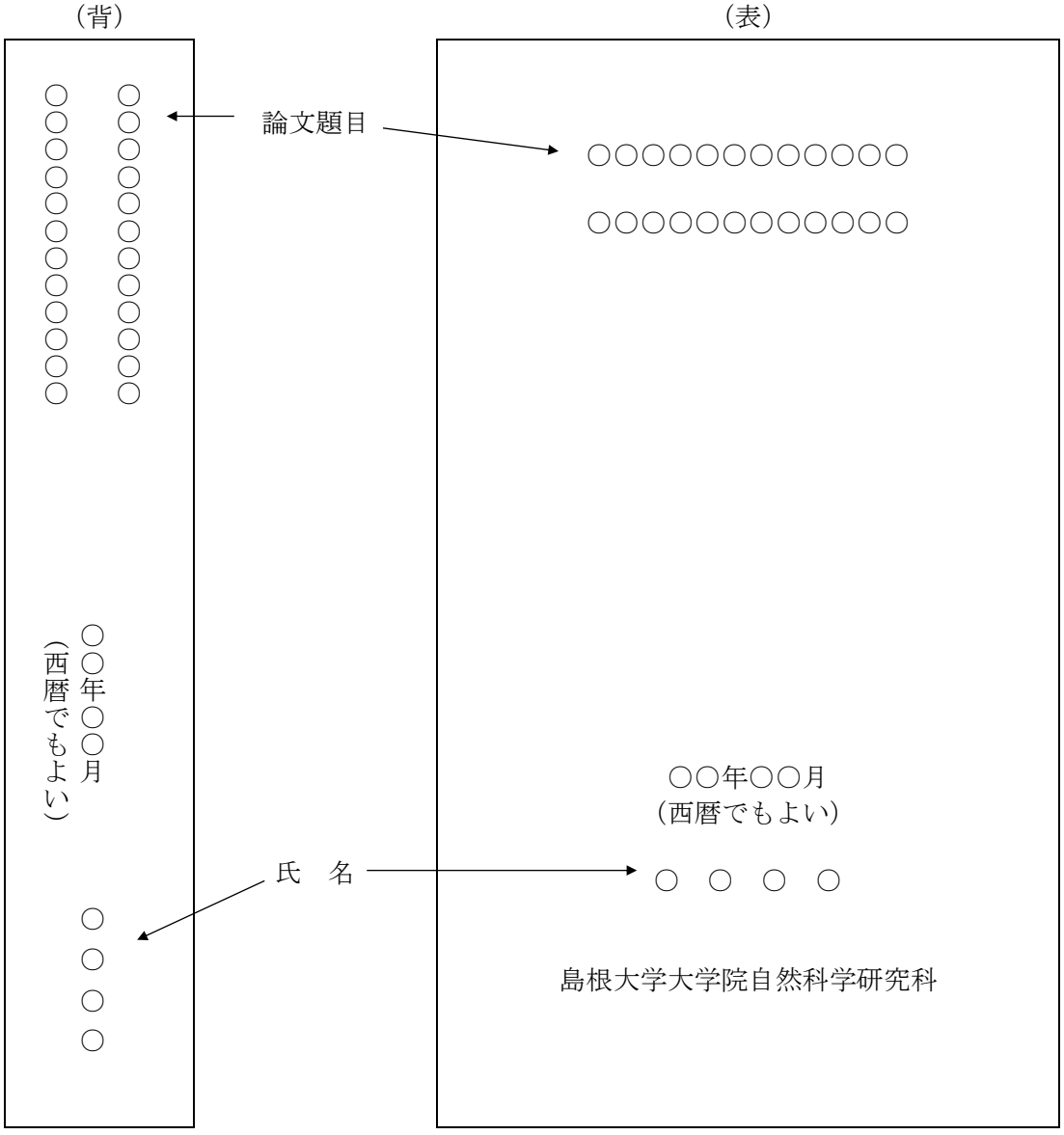
(a) 規格・様式は、Ａ４判横書きとし、和文又は英文とします。

(b) 印刷字体は、パソコン等による印字とすることが望ましいですが、手書きによる場合は、楷書で丁寧に書いてください。

(c) 博士論文は、インターネットの利用による公表を原則としますが、やむを得ない事由により１年以内にインターネット公表ができない場合で、印刷製本する場合は、下記の表紙等作成例を参考にしてください。なお、公表にあたっての提出物については、２０頁からの「Ⅲ 学位論文の公表」をご確認ください。申請時は仮綴じのものを提出してもかまいません。

(d) 製本した論文の表紙及び背表紙には、論文題目、氏名等を記入してください。なお、仮綴じで提出する場合も下記の表紙等作成例を参考に、論文題目、氏名等を記入してください。

（論文の表紙等作成例）（英文の場合は、これに準じて作成してください。）



③ 博士論文の要旨

(a) 博士論文の要旨は、学位の申請に値するものであることを要約して示すものです。

(b) 予備審査申請時に提出する博士論文の要旨と同じ要領で作成してください。

(c) 規格・様式も、予備審査申請時に提出する博士論文の要旨と同じです。

④ 論文目録

(a) 予備審査申請時に提出する論文目録と同じ要領で作成してください。

(b) 規格・様式も、予備審査申請時に提出する論文目録と同じです。

⑤ 関連論文等

関連論文等とは、関連論文及び参考論文の別刷り又はコピーとします。なお、印刷予定のものはその原稿のコピーとします。

本審査で共著論文が追加された場合には、共著者の承諾書（又は指導教員の確認書)、共著論文研究要旨が必要になります。

⑥ インターネット公表に関する承諾書

あらかじめ２０頁からの「Ⅲ 学位論文の公表」をよく読んだうえで記入してください。

(a) 必要事項を記入後、自筆で記名及び捺印したものを提出してください。

(b) 学位取得後、やむを得ない事由のため１年以内の公表ができない場合は、「公表の条件」の欄に、その理由と、公表が可能となる年月日を記入してください。学位授与後３年を超える申請はできません。期間を延長したい場合は、改めて申請を行ってください。期間延長の申し出がない限り、指定された年月日に自動的にインターネット公表されます。

(c) 博士論文の全部又は一部が、学術雑誌等に掲載済み又は採録決定である場合は、「掲載・出版について」の欄に具体的な事項を記入してください。採録決定している場合で、１年以内の公表が不可能な場合は、「公表の条件」欄にその旨を記載してください。１年以内の公表が可能かどうかを確認できない場合は、学務課（自然科学研究科担当）に相談ください。

なお、今後学術雑誌等に投稿する予定を含む場合は、「公表の条件」欄にその旨を記載し、投稿予定雑誌名等を、具体的にお書きください。

(d) 「著作権処理について」の欄は、論文の公表に係る著作権処理の有無等を確認するためのものです。項目に該当する場合のみ、右欄の□にチェックを入れてください。

(e) 本学では研究不正防止体制の強化の観点から、すべての博士論文に対して、審査前及び最終提出前に「iThenticate」による剽窃チェックを義務付けています。指導教員は剽窃結果（類似度レポート）に問題がないこと確認のうえ、「主指導教員確認欄」に署名・捺印をして提出してください。

(f) 用紙の大きさは、Ａ４縦型としてください。

(別紙)

インターネット公表に関する承諾書

令和　　年　　月　　日

附属図書館長　　殿
自然科学研究科長　　殿

島根大学大学院自然科学研究科博士後期課程創成理工学専攻

コース

学生番号

氏名(自筆)　　印

私が執筆しました下記の博士学位（請求）論文について、インターネットの利用による公表を承諾します。なお、やむを得ない事由により公開できない場合も、この事由がなくなった際は公表することを承諾します。

<table>
<tr><td>論文題目(和)</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>論文題目(英)</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>公表の条件</td><td colspan="2">□学位取得後、1 年以内の公表を承諾します。

□下記理由により、指定した期日の公表を承諾します。
※学位取得後 1 年以内に公表できない場合は「やむを得ない事由」と認められる理由が必要です。
【公表日】　　年　　月　　日
【理由】
□博士論文の一部を掲載した学術論文の規定により、一定期間の公表が出来ないため
□博士論文中に現在投稿中または今後学術雑誌等に投稿予定の内容が含まれているため
□その他（　　）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">著作権処理について
項目を確認し、右欄の□にチェックを記入。</td><td>論文中に他の著作物からの引用が含まれる場合</td><td>□出典を明示するなど、適切な処理を行っています。</td></tr>
<tr><td>博士論文及び関連論文に共著者がいる場合</td><td>□公表に関して共著者全員の承諾を得ています（口頭での確認でも可)。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="5">掲載・出版について

当該出版社等が定める著作物の利用に関する規定上、機関リポジトリ（Institutional Repository）での公開が認められているか

● 博士論文の全部又は一部が、学術雑誌等に掲載済み又は採録決定である場合に記入。
● 著作権ポリシーを確認できなった場合、附属図書館コンテンツ担当に確認すること。</td><td>掲載・出版状況</td><td>著作権ポリシー確認状況</td></tr>
<tr><td>誌名：
ISSN：
巻号：
ページ：
出版年月：
DOI：</td><td>□１年以内の公表可を確認した。
□１年以内の公表不可を確認した。
発行後、機関リポジトリでの公表が禁止されている期間
（Embargo）　　月
□公開が認められていない。
査読を受けた関連論文は、Accepted version（著者最終稿）の著作権ポリシーを確認してください。</td></tr>
<tr><td>誌名：
ISSN：
巻号：
ページ：
出版年月：
DOI：</td><td>□１年以内の公表可を確認した。
□１年以内の公表不可を確認した。
発行後、機関リポジトリでの公表が禁止されている期間
（Embargo）　　月
□公開が認められていない。
査読を受けた関連論文は、Accepted version（著者最終稿）の著作権ポリシーを確認してください。</td></tr>
<tr><td>誌名：
ISSN：
巻号：
ページ：
出版年月：
DOI：</td><td>□１年以内の公表可を確認した。
□１年以内の公表不可を確認した。
発行後、機関リポジトリでの公表が禁止されている期間
（Embargo）　　月
□公開が認められていない。
査読を受けた関連論文は、Accepted version（著者最終稿）の著作権ポリシーを確認してください。</td></tr>
<tr><td>誌名：
ISSN：
巻号：
ページ：
出版年月：
DOI：</td><td>□１年以内の公表可を確認した。
□１年以内の公表不可を確認した。
発行後、機関リポジトリでの公表が禁止されている期間
（Embargo）　　月
□公開が認められていない。
査読を受けた関連論文は、Accepted version（著者最終稿）の著作権ポリシーを確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">主指導教員確認欄</td><td colspan="2">□当該学位論文について、剽窃検知ツール iThenticate を用いた確認の結果、剽窃とみなすべきものはないことを確認しました。</td></tr>
<tr><td colspan="2">氏　名　　印</td></tr>
</table>

※この承諾書は、博士論文のインターネット公表のため、著作権のうち複製権・公衆送信権について許可を与えていただくものであり、著作権を移譲するものではありません。

※博士論文中に、現在投稿中または今後投稿予定の内容を含んでいる場合は、掲載が決定した際に改めて、本書類の提出をお願いいたします。

⑦ 英文学位記（副本）交付願書

この届出書は、英文学位記（副本）に記載する事項を確認するためのものです。ここに記入された名前と国籍が学位記に印刷されます。楷書で正確に記入して下さい。

Date: Year Month Day

／ ／

英文学位記（副本）交付願書

Application for the English-translated Diploma of the Doctor’s Degree

島根大学長　殿

To the President of Shimane University

申請者氏名 Name of the applicant

下記の記述のとおり，英文学位記（副本）を交付願います。

Please issue me the English-translated diploma of the Doctor’s Degree. The description of the diploma is as follows.

氏　名 Name in full	
生 年 月 日 Date of birth	Year Month Day ／ ／
国　籍 Nationality	
学位の名称 Degree Please circle the degree you will take.	Doctor of Philosophy in Science Doctor of Philosophy in Engineering

Ⅲ　学位論文の公表

島根大学学位規則第１７条及び１８条の定めに基づき、学位論文等をインターネットの利用により公表することになっています。以下に島根大学学位規則第１７条及び１８条の内容と手続きに係る注意事項をまとめておりますので、確認のうえ必要に応じた手続きを行ってください。

１　島根大学学位規則第１７条及び１８条

主な内容は次のとおりです。

①博士論文の要旨及び審査結果の要旨はインターネットを利用して公表

学位授与日から３月以内に、学位授与大学である本学から、インターネットを利用して公表されます。（島根大学附属図書館学術情報リポジトリ「SWAN」から公表）

②博士論文（全文）はインターネット公表が原則

学位授与日から原則として１年以内に、本学からインターネット公表され、広く博士論文全文の閲覧利用が可能となります。

③博士論文全文を１年以内にインターネット公表できない場合

例外として、「やむを得ない事由」があり、１年以内にインターネット公表できないと本学が承認した場合は、要約※のインターネット公表で代替できます。ただし、「やむを得ない事由」が無くなった場合は、博士論文全文をインターネット公表します。

また、この例外の場合は、本学図書館及び国立国会図書館に当該博士論文（紙媒体またはPDFデータ※）を備え付け、来館のうえ閲覧を希望した方へは閲覧利用を認めます。

「やむを得ない事由」とは、以下のような場合です。

①博士論文が、立体形状による表現を含む等の理由により、インターネットの利用により公表することができない内容を含む場合

②博士論文が、著作権保護、個人情報保護等の理由により、博士の学位を授与された日から１年を超えてインターネットの利用により公表することができない内容を含む場合

③出版刊行、多重公表を禁止する学術ジャーナルへの掲載、特許の申請等との関係で、インターネットの利用による博士論文の全文の公表により博士の学位を授与された者にとって明らかな不利益が、博士の学位を授与された日から１年を超えて生じる場合

２　公表を前提とした著作権処理

・学術著作物として著作権法を遵守したうえで、必要に応じた手続き（他の著作物からの引用手続き、インターネット公表を前提とした共著者からの許諾など）が求められます。

・既に公表している論文に使用した図表や写真等を引用する場合、それが自作のものであっても、出典を明示するなど適切に引用する必要があります。

・博士論文の一部が、学術雑誌等に掲載済み又は採録が決定している場合は、出版元や学会等の著作権ポリシーを遵守する必要があります。別紙様式（１７～１８頁を参照）に掲載誌名等を記載するとともに、著作権ポリシーをご確認ください。著作権ポリシーを確認できない場合は、学務課（自然科学研究科担当）に相談ください。

・博士論文を公表することで、それに含まれる内容は公表済みと見なされ、新たに投稿することができなくなる可能性があります。学位授与後１年以内に博士論文を公表することにより、このような不利益を被る可能性がある場合は、「やむを得ない事由」として公表を延期できますので、別紙様式の「公表の条件」欄にその旨を記載し、具体的な投稿予定雑誌名等を付記してください。
・関連論文は、原則、公表を行いません。やむを得ず公表を希望する場合は、別途協議を行いますので、学務課（自然科学研究科担当）まで申し出てください。

3　公表用電子データの提出形式・提出物

①１年以内にインターネットにより全文公表できる場合

博士論文審査用以外に公表用として提出いただくものは、博士論文の要旨及び論文審査結果の要旨の Word データと論文全文の PDF データ※となります。また、本学図書館の来館利用に応じるために、印刷体１部（仮綴じでも可）も提出してください。

②１年以内にインターネットにより全文公表できない場合

大学から「やむを得ない事由」があると承認された場合は、①に加えて、別に博士論文の要約※の PDF データ※を提出してください。

論文全文の PDF データ※を提出できない場合は、国立国会図書館備え付け用の冊子体・製本済を１部提出してください。

※PDF のデータ形式についての注意点

・外部フォント等の外部情報源を参照していないこと。（フォントを埋め込んだファイルとすること）
・暗号化、パスワードの設定、印刷制限等を行わないこと。
・ファイル形式は PDF/A を推奨する。（国立国会図書館推奨）
・容量を３０MB 以下とすること。

※博士論文の要約とは

課題設定、方法論、実験・解析、結論・考察など、章立てごとに当該論文の全体がわかる形で簡潔にまとめたものです。論文の中心となる考え方等をまとめた博士論文の「要旨」とは異なります。（ただし、博士論文の「要旨」が論文全体の内容を十分推測できるものであれば、「要約」の代わりにすることが可能です。）

Ａ４縦型の用紙に横書きで作成し、PDF データを学務課（自然科学研究科担当）までご提出ください。

4　インターネットの利用による公表の方法

本学でのインターネット公表は、附属図書館で運用している島根大学附属図書館学術情報リポジトリ「SWAN」から公開いたします。また、島根大学附属図書館学術情報リポジトリ「SWAN」に登録された博士論文の全文は、国立情報学研究所により自動収集されます。詳細は、国立国会図書館ホームページをご覧ください。

博士論文公表に係る提出物一覧表

提　出　物	１年以内にインターネットにより全文公表できる場合	１年以内にインターネットにより全文公表できない場合	備　　考
博士論文の要旨	○	○	印刷体と Word データの両方を提出
論文審査結果の要旨	○	○	〃
博士論文の全文(PDF)	○	○*	＊やむを得ない事由解除後にインターネット公表するため
博士論文の全文 (印刷体･仮綴じ可) 1 部	○	○	電子データとの照合及び本学附属図書館来館者の閲覧利用のため
博士論文の全文 (冊子体・製本済) 1 部	―	○	国立国会図書館送付用（全文 PDF が提出できない場合）
博士論文の要約(PDF)	―	○	全文の代替として要約を公表
インターネット公表に関する承諾書	○	○	１年以内にインターネット公表できない場合も、その理由を記入して提出

※上記以外の博士論文審査用に必要な提出物は、２～３頁を参照の上、提出してください。